

「隣人の幸いを喜ぶ掟」
出エジプト記 20 章 1-2,12-17 節

2023.2.26

●アウトライン

1. 隣人の家を欲してはならない
 - ・貪欲と妬みを戒める掟として
 - ・隣人の家を欲する思いは、相手を傷つける行為に繋がっていく。
 - ・聖書における妬みの物語
 - ・マウント取り合戦の現代社会
 - ・私たちが愛し、すべて必要なものを与えてくださる神
 - ・自分に与えられている神の恵み・賜物に目を向けて生きる生き方
2. 隣人の幸いを喜ぶ掟
 - ・「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」（ローマ 12:15）
 - ・隣人の幸いを喜ぶことのできない私たち
 - ・自分を喜び、隣人を喜ぶときに、愛と平和の神の御国は広がっていく。

●聖書箇所

【マタイによる福音書 22 章 37-40 節、新約聖書 44 ページ】

「イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。「隣人を自分のように愛しなさい。」律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。』

【ヤコブの手紙 3 章 13-17 節、新約聖書 424-425 ページ】

「あなたがたの中で、知恵があり分別があるのはだれか。その人は、知恵にふさわしい柔和な行いを、立派な生き方によって示しなさい。しかし、あなたがたは、内心ねたみ深く利己的であるなら、自慢したり、真理に逆らってうそをついたりしてはなりません。そのような知恵は、上から出たものではなく、地上のもの、この世のもの、悪魔から出たものです。ねたみや利己心のあるところには、混乱やあらゆる悪い行いがあるからです。上から出た知恵は、何よりもまず、純真で、更に、温和で、優しく、従順なものです。憐れみと良い実に満ちています。偏見はなく、偽善的でもありません。」

【ローマの信徒への手紙 12 章 15 節、新約聖書 292 ページ】

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

●カテキズムの言葉（聖書の教えの要約）

【子どもと親のカテキズム】

問 81 第十戒で、神さまは私たちに何を求めておられますか。

答 神さまは、私たちにすべて必要なものを与えてくださいます。むさぼりは、この世のものを神さまとする偶像礼拝です。神さまは、私たちが、他の人のものをねたまず、自分の持ち物に感謝し、満足し、人の幸せを願うことを求めておられます。

●教会で読まれる十戒の式文

わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。

1. あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。
2. あなたはいかなる像も造ってはならない。
3. あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。
4. 安息日を心に留め、これを聖別せよ。
5. あなたの父母を敬え。
6. 殺してはならない。
7. 姦淫してはならない。
8. 盗んではならない。
9. 隣人に関して偽証してはならない。
10. 隣人の家を欲してはならない。